

## 謝辞

本研究を進めるに当たり、大変多くの方々にご指導と御助言を頂きました。特に、本研究のみならず、学生生活全般にわたり、惜しみない激励をして下さった筑波大学農林工学系天田高白教授に心から御礼申し上げます。

また、ご多忙にもかかわらず、常に適切な御指導・御助言を頂いた多田敦教授・安部征雄教授ならびに臼井健二教授に深く感謝致します。

さらに、研究の解析に当たり適切なアドバイスを頂いた中村徹助教授・塩沢昌助教授にも感謝致します。

流域管理研究室のみなさんには的確なアドバイスと、心のこもった励ましを頂きました。特に、松下一樹君と秋山怜子さんには原稿整理において多大なご協力を頂きました。誠にありがとうございました。

“学問というのは流れている川を遡る船のようで漕がないと流されてしまう”。論語の言葉をいつも胸の中に持ちながら、流されないように必死であった自分の姿と共に、出発点にそのまま止まっている自分を振り返ると前に進めなかった自分の力の無さを痛感する次第です。

最後まで自分を信じて下さった愛する両親と家族の皆さん、そして、なによりも私の心の支えになって下さった神様に感謝いたします。

皆様に心から感謝するとともに、厚く御礼申し上げます

1999年 11月

流域管理研究室にて

安 洪 奎